

新庁舎は大手広場にせり出してくる

新庁舎は2018年明けぐらゐから工事が始まる。

1階部分山側ラインは、旧館山側にあった噴水池があつた辺りまでせり出してくる。①～①'

大手川沿いの長屋跡と長屋と庁舎の間にある市道跡は新庁舎敷地内の通路と駐車場になる。現在業務を行っている国道251側の庁舎は、新庁舎建設後取り壊されて駐車場となる。

2階部分は大手広場側にせり出すように造られ、②～②' 大手川側は駐車場と通路にかぶさる『川床デッキ』と呼ばれる広いテラスとなる。

(現上の町～新町の大手広場市道は廃止されて新庁舎敷地内の通路となる)

2階フロアには建物内の階段(海側・山側・ホールの3か所)だけでなく、直接外階段から(海側・山側＝大手広場側から)昇ることができる。

大手広場側階段は、アーケード側から(現タクシー乗り場辺りを)昇ると、左手に2階フロアの

バルコニー(②～②')。右手に、大手川を見下ろせる川床デッキ。

タクシー乗り場の大クスはそのまま残され、2階バルコニーと階段から芝生広場を見渡せる。

3階は更に大手広場側に張り出して、③～③' 芝生広場を覆う屋根の役割を果たす。

1 F: 窓口ゾーン

2 F: 窓口・執務・会議ゾーン

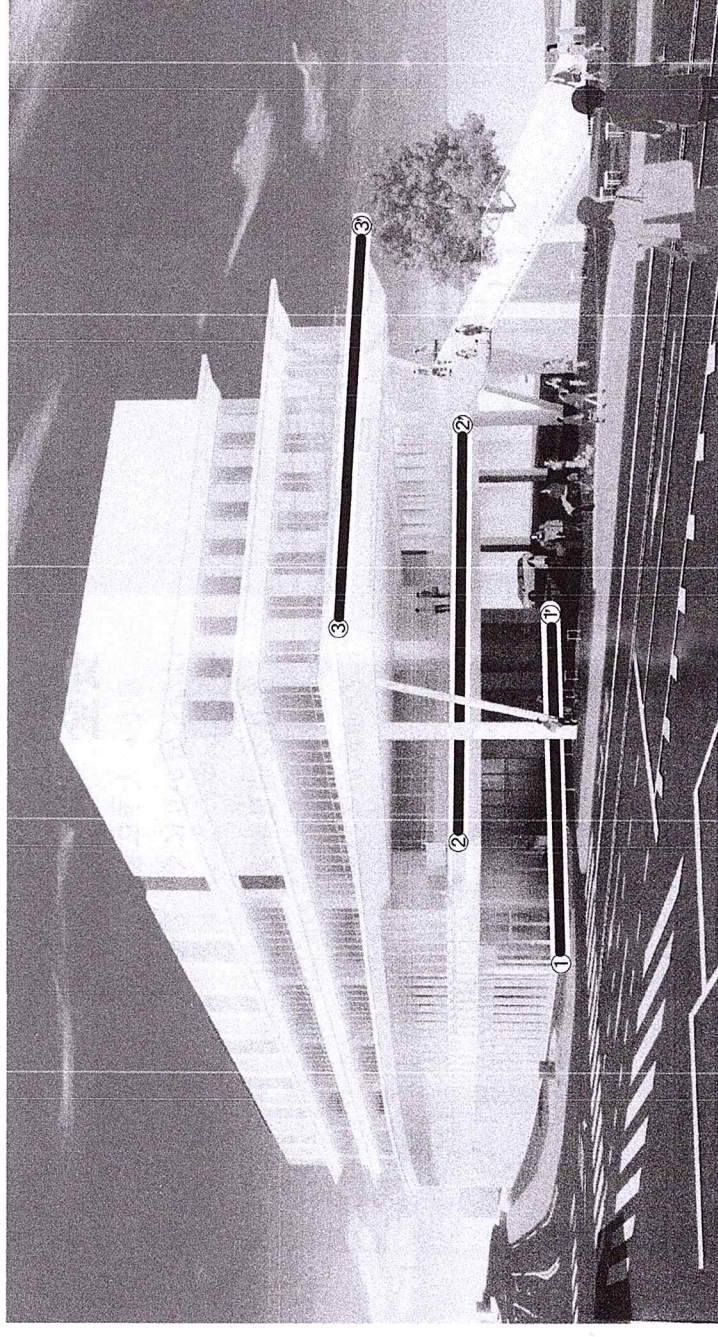
3 F: 執行部・執務ゾーン

4 F: 議会ゾーン

5 F: 設備・書庫ゾーン

大手広場全体のデザインはまだ全くの手つかずで、今回まで県道及びその北側山側は現状のまま、次の課題。

※松坂の方で、ラウンドアバウト交差点を設置してはどうかと提案をしている。(8ページ～)



完成予想図の山側(大手広場側)の建物境界を、1階①～①' 2階②～②' 3階③～③' で示しています。下の平面図の境界線と対比してご覧ください。

